

## 目 次

### 馬事資料

中西関松の時代からと金山明彦の時代へ

一ばんえい競馬の近代化	古林 英一	1
京都競馬場スタンド建築の変遷	林 正樹	13

### 馬事往来

「引退馬ホースサミット in 日高」の開催	藤沢 澄雄	17
隠岐諸島, 島前での馬事あれこれ	岩田 光太	20

### 特別記事

ノーザンホースパーク

—多様な側面を持つ「馬のテーマパーク」—	広瀬 春行	25
----------------------	-------	----

Journal of Equine Science Vol. 26 No. 3, September 2015 和文要約 29

お知らせ 31

協賛団体名・賛助会員名簿 32

Hippophile 投稿に関する基準 33

編集後記

Hippophile No. 62

### - 編集委員 -

編集担当常任理事	田谷 一善 (東京農工大学)	
編集委員長	楠瀬 良 (日本装蹄協会)	
編集委員	相川 貴志 (地方競馬全国協会)	永井富美子 (エディター)
	石田 信繁 (JRA 競走馬総合研究所)	沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会)
	近藤 誠司 (北海道大学)	三浦 暁子 (エッセイスト)
	末崎 真澄 (馬の博物館)	守谷 久 (北海道新聞社)
	杉本 篤信 (競馬保安協会)	山口 洋史 (JRA 馬事公苑)
	関 正喜 (北海道新聞社)	山野 浩一 (作家)

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899年 49.8×34.1 センチ多色刷り  
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science